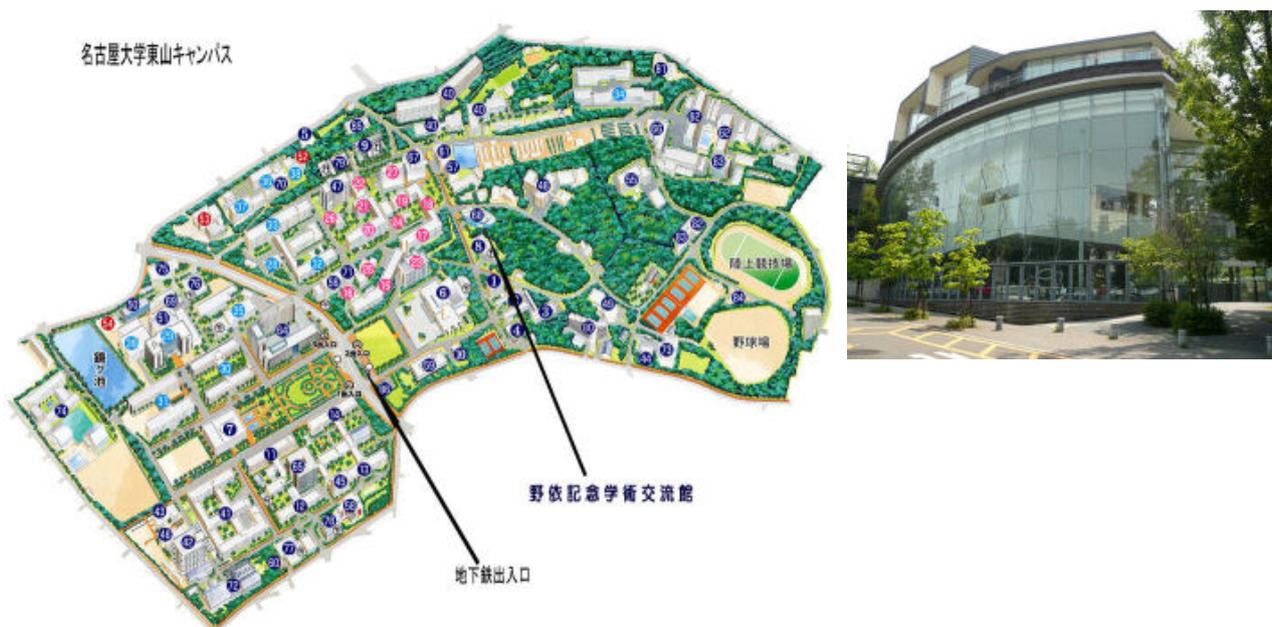




第3回大会のご案内

日時：2009年12月12日(土)・13日(日)

会場：名古屋大学 野依記念学術交流館



【アクセス】

地下鉄名城線名古屋大学駅下車(2番出口)徒歩5分

JR名古屋駅・名鉄名古屋駅・近鉄名古屋駅からの場合…地下鉄東山線藤が丘行きに乗りし、本山駅で地下鉄名城線右回りに乗り換え、名古屋大学駅下車。所要時間約30分(乗換含)

JR金山駅・名鉄金山駅からの場合…地下鉄名城線左回りに乗りし、名古屋大学駅下車。所要時間約25分

参加費：無料、ただし懇親会費は事前受付4,500円、当日受付5,000円

参加申し込み：

行動経済学会 HP <http://www.iser.osaka-u.ac.jp/abef/> からお申し込みください。

第3回大会 プログラム委員会・運営委員会

プログラム委員長 池田新介(大阪大学)

委員：大垣昌夫(慶應義塾大学)・大竹文雄(大阪大学)・岡田克彦(関西学院大学)・加藤英明(名古屋大学)・田中沙織(大阪大学)・筒井義郎(大阪大学)・俊野雅司(大和フアンド・コンサルティング)・福田慎一(東京大学)・星野崇宏(名古屋大学)・真壁昭夫(信州大学) (五十音順)

運営委員長 加藤英明(名古屋大学)・副委員長 山本達司(名古屋大学)

委員：江夏幾多郎・清水克俊・中島英喜・花蘭誠・星野崇宏・家森信善(以上名古屋大学) (五十音順)

行動経済学会 第3回大会(2009年)プログラム

第1日 12月12日(土)

時間帯	会場	セッション
13:30-15:45	2F ホール	特別セッション「経済政策の行動経済学」 座長: 櫻川昌哉(慶應義塾大学)
		論題: 政治的意思決定におけるマーフィーの法則 講演: 村瀬英彰(名古屋市立大学)
		論題: 現状維持の政策決定について 講演: 福田慎一(東京大学)
		論題: 中央銀行と民間部門との双方向コミュニケーション 講演: 木村 武(日本銀行)・青木浩介(LSE)
	会議室 3	一般報告セッション「行動ファイナンス」 座長: 岡田克彦(関西学院大学)
		論題: ストック・オプションと企業の収益性—オプション価格評価額に基づく実証分析— 著者: 花崎正晴・松下佳菜子(日本政策投資銀行設備投資研究所) 報告: 花崎正晴(日本政策投資銀行設備投資研究所) 討論: 内田交謹(九州大学)
		論題: 株価モメンタムと出来高の関係—投資家の株価トレンド追従行為からの解明 著者: 三輪宏太郎・植田一博(東京大学) 報告: 三輪宏太郎(東京海上アセットマネジメント投信) 討論: 三隅隆司(一橋大学)
		論題: 昭和と平成における日本のヒット曲=流行歌の音程・音域・イクタスと経済状況の 関係の分析 著者: 保原伸弘 報告: 保原伸弘(一橋大学) 討論: 日置孝一(神戸大学)
		一般報告セッション「インセンティブ・評価・労働」 座長: 大竹文雄(大阪大学)
	論題: 隣人はあなたをやる気にさせるか?: 実験室実験によるアプローチ 著者: 山根承子 報告: 山根承子(大阪大学) 討論: 木成勇介(名古屋商科大学)	
	論題: 公正感とはいかなる知覚か 著者: 江夏幾多郎 報告: 江夏幾多郎(名古屋大学) 討論: 高橋 潔(神戸大学)	
	論題: 管理職の自己評価に男女差は存在するのか? 著者: 大藺陽子 報告: 大藺陽子(慶應義塾大学) 討論: 大竹文雄(大阪大学)	
会議室 1	一般報告セッション「実証行動経済学」 座長: 晝間文彦(早稲田大学)	
	論題: Decision to Get Influenza Vaccination: A Behavioral Economic Approach 著者: Yoshiro Tsutsui, Uri Benzion (Ben Gurion University), Shosh Shahrabani (Max Stern Academic College of Emek Yezreel), Gregory Yom Din (University of Haifa) 報告: 筒井義郎(大阪大学) 討論: 依田高典(京都大学)	
	論題: 主観的幸福度のセルフコーディング手法の開発: カレンダー・マーキング法 著者: 佐伯政男、前野隆司(慶應義塾大学) 報告: 佐伯政男(慶應義塾大学) 討論: 山根智沙子(新潟産業大学)	
	論題: 仮想的質問による消費理論の検証: 日米比較 著者: 窪田康平 報告: 窪田康平(大阪大学) 討論: 晝間文彦(早稲田大学)	

15:45-16:00	休憩	
16:00-16:45	2F ホール	総会
16:45-17:45	2F ホール	招待講演 座長: 晝間文彦(早稲田大学)
		論題: Using Decision Errors to Help People 講演: George Loewenstein (Carnegie Mellon University)
18:00-20:00	懇親会	

第2日 12月13日(日)

時間	場所	セッション
9:00-10:30	2F ホール	一般向け教育セッション「行動ファイナンス理論と投資」 座長: 真壁昭夫(信州大学) 講演後質疑応答
		論題: 心と出会った経済学—行動ファイナンス理論の基本的考え方 講演: 真壁昭夫(信州大学)
		論題: 個人投資家が行動経済学から学べること 講演: 内藤 忍(マネックス・ユニバーシティー)
		論題: 投資家行動と行動ファイナンス理論 講演: 俊野雅司(大和ファンド・コンサルティング)
		論題: 行動ファイナンス理論の可能性と限界 講演: 三隅隆司(一橋大学)
9:00-10:30	会議室 1・2・3	研究者向け教育セッション「神経経済学」 座長: 大竹文雄(大阪大学)
		論題: 神経経済学・はじめの一步 講演: 田中沙織(大阪大学)
		論題: 社会行動における個人差と神経機構 講演: 春野雅彦(玉川大学)
10:30-10:45	休憩	
10:45-12:45	2F ホール	パネルディスカッション「年金問題と行動経済学」 コーディネーター: 小塩隆士(一橋大学) パネリスト: 臼杵政治(ニッセイ基礎研究所) 鈴木 亘(学習院大学) 野尻哲史(フィデリティ投信)
12:45-13:45	休憩	
13:45-16:00	会議室 3	特別セッション「マーケティング・消費者行動」 座長: 守口 剛(早稲田大学)
		論題: 補償型購買意思決定と非補償型購買意思決定: 誰がいつどこで? 講演: 星野崇宏(名古屋大学)
		論題: 消費者の選好判断過程に及ぼす背景効果—fMRI による脳機能画像計測実験を用いて— 講演: 竹村和久(早稲田大学)
		論題: 消費者は未来を「予知」できるか?—トレンド予測のフィールド実験 講演: 水野 誠(明治大学)
13:45-16:00	会議室 2	一般報告セッション「時間割引研究の新展開」 座長: 田中沙織(大阪大学)
		論題: Cultural Neuroeconomics of Intertemporal Choice 著者: 高橋泰城 報告: 高橋泰城(北海道大学) 討論: 筒井義郎(大阪大学)
		論題: Patience for Savouring 著者: 中川雅央 報告: 中川雅央(大阪大学) 討論: 兵庫一也(龍谷大学)
		論題: Tough Love and Discounting: Empirical Evidence 著者: ホリオカ・チャールズ(大阪大学)、亀坂安紀子(青山学院大学)、窪田康平(大阪大学)、大垣昌夫、大竹文雄(大阪大学) 報告: 大垣昌夫(慶應義塾大学) 討論: 依田高典(京都大学)

13:45-16:00	会議室 1	一般報告セッション「社会選択と制度設計」 座長: 川越敏司(公立はこだて未来大学)
		論題: 地方公共財供給制度の実験的手法による評価について-花粉症対策事業を題材として- 著者: 川西 諭、青木 研(上智大学)、中川雅之(日本大学)、浅田義久(日本大学)、山崎福寿(上智大学) 報告: 川西 諭(上智大学) 討論: 竹内 幹(一橋大学)
		論題: 観察的学習と社会規範の生成: インターネット実験による分析 著者: 佐々木俊一郎 報告: 佐々木俊一郎(名古屋商科大学) 討論: 城下賢吾(山口大学)
		論題: Committing to Promises by Guilt: A Generalized Approach 著者: 成田悠輔 報告: 成田悠輔(東京大学) 討論: 川越敏司(公立はこだて未来大学)

閉会 16:00

行動経済学会事務局

大阪府吹田市千里万博公園 1 番 1 号 大阪大学社会経済研究所 万博オフィス内

電話: 06-6816-9003 / Fax: 06-6816-9004

abef@iser.osaka-u.ac.jp